

『天啓の殺意』中町 信

作品の中の作品を読んでいく。

少し変わった形で、進んでいくこの物語は
読む人を夢中にさせ、ページをめくる手を止めさせない。

あなたは読み終えた時に初めて気付くのだ。

本屋でこの表紙を見ている

今、その瞬間から

作者の罠に

はまっていたことに